

# GFSI ベンチマーキング 要求事項



## 2020年版での変更点

### なぜ「第8版」ではなく、「2020年版」？

GFSIでは、広範なベンチマークと認定作業を通じて、食品安全システムにおける調和、継続的な改善、信頼を高めています。過去20年にわたり、GFSIワーキンググループの専門家は、GFSIベンチマーク要求事項に定められた、世界で最も広く受け入れられている食品安全認証プログラムのベンチマークツールを、総合的に作成してきました。第7.2版に続く今回の新版は、単なる編集ではなく、刷新です。

2020年版は、多くの重要な変更をGFSIベンチマーク要求事項に導入します。バージョン命名法の変更は、コンテンツの段階的な変更を反映するとともに、新たな世代の認識を打ち出すものです。さらに、付番による命名(7→7.1→7.2→8)から、リリース年次による命名へ移行することによって、各版のリリース日がより明確に示されます。

### 主な変更点

#### 言語

曖昧さを排除し、認証プログラムの透明性と一貫性のある評価を促進することを目的とした、簡素化及び調和された言語。

#### 強化された要素

抜き打ち監査の、推奨から必須への変更や、最小監査期間の設定等、透明性及び客観性向上のための既存要素の改善。詳細については後述を参照。

#### 構造

ISO22000に沿ったスコープ構造と、全てのスコープにわたるキー要素の一連の付番。

#### 整合性

食品衛生に関する最新のコーデックス食品規格ガイドラインへの整合。

#### 新しい要素

「食品安全文化」等の新たな要求事項の追加、及び、農場から食卓までのGFSIの包括的アプローチを、「衛生的デザイン」へと拡張する、新たなスコープの追加。詳細については後述を参照。

## 新しい要素

2020年版には、新しい条項と新しいスコープが含まれます。それらの全てが、農場から食卓までのGFSIの包括的アプローチ、及びCPOと認証機関の活動実績に関する要求事項の、拡張に寄与します。



### CPO ガバナンス

2020年版には、CPOと、認証機関及び認定機関との関わり方に関する要求事項が追加されています。これには、**年間活動実績評価の実施**や、CPO、認証機関及び認定機関の間での、活動実績に関する継続的な情報交換の確実な実施等が含まれます。



### GAP

2020年版では、周辺のメンテナンスとGHPを検証する内部サイト検査に関する要求事項が追加されます。



### FSMS

トレーサビリティ手順の検証、製品開発、ラベルのない製品に提供される情報に関する要素と共に、**食品安全文化**の要素が追加されました。



### 新しいスコープ

**衛生的デザイン**に関するスコープII及びIIIが2020年版に追加されました。

## 強化された要素

既存の要素の強化は、透明性と客観性を高めることを目的としています。特に、GFSIIは、監査プロセス及び認証機関のモニタリングにおける公平性を強化しています。



### CPO ガバナンス

**抜き打ちの監査が3年ごとに**(または、業界によっては監査回数の10%ごとに)求められます。毎年レビューされる、デスクトップレビュー、苦情、事務所訪問の結果に基づくKPIが、認証機関に対して設定されます。



### FSMS

顧客または法的要件が利用できない場合、食品の保存期間を超える期間、文書を保持する必要があり、ラボテストではISO17025を参照するようになりました。



### GMP and GAP

現在、コーデックス食品規格の食品衛生ガイドラインへの明示的な言及、**洗浄の有効性の検証**、及び食品の製造を目的としない水の管理が要求されます。業務のレイアウトとフローを分析する必要があります。保管、輸送、製造中の**交差汚染の管理**、及び従業員の定期的なトレーニングが必要となります。

ここに掲載されている、新規追加、及び強化された要素は、2020年版で変更された部分のほんの一部にすぎません。全ての新規追加、及び強化された要素の完全なリストについては、GFSIライブラリにある、“Key Changes: GFSI Benchmarking Requirements, V7 to Version 2020”を参照してください。[publications.mygfsi.com](https://publications.mygfsi.com)

mygfsi.com

